

静岡県で初めて実施したフォトサーベイについて

◎川井 孝太¹⁾
磐田市立総合病院¹⁾

【はじめに】これまで、静岡県では部門員の人数や精度管理の実施経験が無いという理由から精度管理調査の実施ができていなかった。しかし、近年医療法改正やISO15189などで品質保証や精度保証などが重要視されるようになり、静岡県でも精度管理調査を実施していきたいと思い昨年度初めてフォトサーベイを実施したので報告する。

【実施方法】症例画像を静岡県臨床衛生検査技師会臨床一般部門部門員に割振り収集。①赤血球形態(非糸球体型と糸球体型の鑑別)、②白血球、③上皮細胞、④異型細胞、⑤円柱、⑥結晶を対象に設問を10問作成しGoogleフォームにてフォトサーベイを作成した。研修会案内にQRコードを添付して作成し静岡県臨床衛生検査技師会登録施設に配布し、解答期間を設け期間中に各施設担当者に解答して頂き解答を集計後、報告会を開催した。

【結果】経験年数1年未満～5年以上と幅広く参加。非糸球体型赤血球や白血球,円柱鑑別などは正答率が90%を超えており良好な結果が得られた。しかし、糸球体型赤血球鑑別では、経験年数によっては正答率が60%と低くなっている。上皮細胞,異型細胞鑑別などでは解答にバラつきが見られた。円柱上皮では解答にバラつきがあり正答率が50%と設問の中でも低くなっている。

【考察】糸球体型赤血球は腎炎など腎疾患の鑑別に重要で個々の形態だけでなく、全体的な形態の観察も必要になる。上皮細胞や異型細胞鑑別ではやや基本的な形態と違い判断が迷うような写真だったためか解答にバラつきが出た可能性がある。しかし、細胞質辺縁や細胞質内構造などに形態的特徴のある問題だったと思われるので鑑別するポイントを再確認してもらう必要があると感じた。

【まとめ】今回、静岡県臨床一般部門として初めて精度管理調査としてフォトサーベイを実施した。赤血球形態や上皮細胞ではバラつきが出てしまった。赤血球形態は臨床的にも重要になってくるので今後も継続的に問題提出をする必要がある。

参加目的などでは、自分の目合わせで参加と解答している方が多かった。施設の内部・外部精度管理として参加と解答している方が40%認められ、フォトサーベイに参加したいとの解答も多く、精度管理調査の必要性和重要性を再確認できた。今後も、会員の皆さんのご意見を頂き定期的な事業として実施していきたい。

磐田市立総合病院 臨床検査技術科 0538-38-5000 (内線 2703)